

回 答 書

(質問項目)

仕様書 4「サンプル数」について

(内 容)

- ・聞き取り調査のサンプル数として、合計 800 サンプル（国内：600／外国人：200）と記載がございます。この数値は、実施期間に記載の全 4 回の調査を通じた合計（延べ数）という認識でよろしいでしょうか。

(回 答)

- ・お見込みのとおりです。

(内 容)

- ・調査地点への調査協力は委託者が実施するという認識でよろしいでしょうか。

(回 答)

- ・お見込みのとおりです。

(内 容)

- ・前回調査における調査実施地点数と実施回数（日数）についてご教示ください。

(回 答)

- ・前回調査における調査実施地点数は 3 箇所、実施回数は 16 日です。
- ・参考ですが、前回は 3,080 人から聞き取り調査を実施しました。

(質問項目)

仕様書 5「調査項目」について

(内 容)

- ・平成 20 年度の調査票を共有していただけますか。

(回 答)

- ・平成 20 年度の調査報告書は提供します。

(内 容)

- ・多言語の調査票について、貴町にて翻訳済みの調査票をご提供いただけるかご教示ください。

(回 答)

- ・翻訳済みの調査票は委託者で作成願います。

(質問項目)

仕様書 6「報告・成果物」の 1 点目、速報資料の形式について

(内 容)

- ・速報資料の形式について、想定されている具体的な仕様はありますか。
Word 形式で、図表等を用いた「簡易的な報告書形式」までとの認識でよろしいでしょうか。

(回 答)

- ・速報資料の形式について、現時点で町として特定の仕様は定めていません。分かりやすく簡潔に整理された速報資料を作成していただくことを想定しています。

(質問項目)

仕様書 6「報告・成果物」の 3 点目、総括報告書について

(内 容)

- ・前回調査との比較を行うため、加工可能な Excel 等の形式でのデータ提供は可能ですか。

(回 答)

- ・加工可能な Excel 等の形式データはありません。

(内 容)

- ・また、提案の参考とするため、報告書等の資料を事前に共有していただくことは可能ですか。

(回 答)

- ・平成 20 年度の調査報告書は提供します。

<p>(質問項目)</p> <p>仕様書6「報告・成果物」の3点目、⑧観光経済波及効果の算出について</p>
<p>(内 容)</p> <p>・経済波及効果の計測に長野県産業連関表の使用について言及がありますが、公表されている産業連関表の部門数の指定はありますか。また、経済波及効果の計測は長野県産業連関表を使った長野県への波及効果を案分等をして小布施町への波及効果を簡易推計する方法で良いでしょうか。</p> <p>上記でない場合は、どのような手法を想定しているかをお知らせください。</p>
<p>(回 答)</p> <p>・本業務で使用する長野県産業連関表の部門数について、町として特段の指定はありません。長野県が公表している産業連関表には、複数の分類がありますが、分析目的に応じて、各社において適切な部門分類を選択し提案してください。</p> <p>経済波及効果の計測方法についても特定の手法を指定するものではありません。長野県産業連関表を用いて長野県全体の波及効果を算出し、小布施町への波及効果を出してください。</p> <p>前回調査結果を提供しますので推計方法等参考にしてください。</p>
<p>(内 容)</p> <p>・仕様書「基本属性・来訪特性」の調査項目に「年間来訪者数（延べ・実人数）／宿泊者数／日帰り者数」と記載されていますが、観光消費総額・経済波及効果の推計においては、来訪者数（母集団）の推計値が必要となります。</p> <p>本項目について、どのような手法での推定を想定されていますか。</p>
<p>(回 答)</p> <p>・特定の推計方法の指定はありませんので、前回調査結果を参考にしてください。</p>

(質問項目)

仕様書 6「報告・成果物」の 5 点目、調査結果の集計システム・可視化手法について

(内 容)

・「調査結果については、集計システム及び可視化手法の指定はないが、・・・成果物の整備方法を提案したうえで、町と協議すること。」とありますが、現状で想定している成果物の整備方法とはどのようなものですか。または、整備についての必須の仕様があればお知らせください（例：紙、エクセル、ワード、html(web)等）。

(回 答)

・最終的な成果物の形式や提出方法については、提案内容を踏まえ、受託者と町で協議のうえ決定しますが、現段階では紙及びエクセル、ワード等のデータ提出を想定しています。